

# 世界8資産ファンド

[安定コース・分配コース・成長コース]  
<愛称：世界組曲>

追加型投信／内外／資産複合

## 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、世界の8つの資産（国内債券、海外債券、エマージング債券、国内株式、海外株式、エマージング株式、国内リートおよび海外リート）にバランスよく分散投資を行い、安定的な投資成果を目指して運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2024年5月9日～2024年11月8日

第37期		決算日：2024年11月8日	
		安定コース	成長コース
第37期末 (2024年11月8日)	基準価額	13,579円	17,050円
	純資産総額	3,000百万円	5,076百万円
第37期	騰落率	1.2%	3.8%
	分配金合計	85円	145円
第215期	決算日：2024年6月10日	第218期	決算日：2024年9月9日
第216期	決算日：2024年7月8日	第219期	決算日：2024年10月8日
第217期	決算日：2024年8月8日	第220期	決算日：2024年11月8日
		分配コース	
第220期末 (2024年11月8日)	基準価額	11,582円	
	純資産総額	16,535百万円	
第215期～ 第220期	騰落率	2.8%	
	分配金合計	90円	

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

## ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

## 運用の概要

- (1) 「世界8資産ファンド 安定コース」、「世界8資産ファンド 分配コース」、「世界8資産ファンド 成長コース」の各ファンドは、「国内債券マザーファンド」、「海外債券マザーファンド」、「エマージング債券マザーファンド」、「国内株式マザーファンド」、「海外株式マザーファンド」、「エマージング株式マザーファンド」、「国内リートマザーファンド」、「海外リートマザーファンド」の各受益証券への投資を通じて、国内、海外およびエマージング諸国の各債券、国内、海外およびエマージング諸国の各株式、国内および海外の各不動産投資信託証券（リート）に実質的に投資します。
- (2) 各ファンドにおける各マザーファンドへの配分比率は以下を基本（これを「基本配分比率」といいます。）とします。

### 【各コースの基本配分比率】

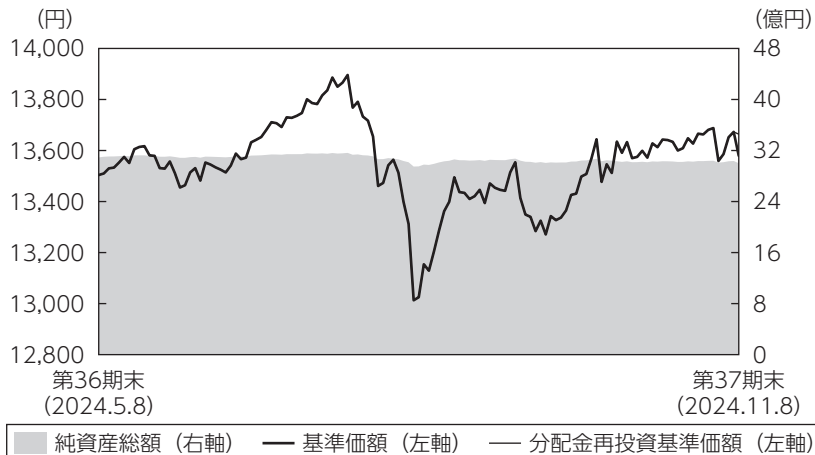
資産/各コース	安定コース	分配コース	成長コース
国内債券	40%	20%	5%
海外債券	15%	30%	5%
エマージング債券	5%	10%	10%
国内株式	10%	5%	35%
海外株式	5%	10%	15%
エマージング株式	5%	5%	10%
国内リート	10%	5%	10%
海外リート	10%	15%	10%

資産	実質的な投資をするマザーファンド	各マザーファンドのベンチマーク
国内債券	国内債券マザーファンド	NOMURA-BPI総合
海外債券	海外債券マザーファンド	FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）
エマージング債券	エマージング債券マザーファンド	JPMorgan・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド（円ベース）
国内株式	国内株式マザーファンド	東証株価指数（TOPIX）（配当込み）
海外株式	海外株式マザーファンド	MSCI-KOKUSAI指数（グロス配当再投資込み、円ベース・為替ヘッジなし）
エマージング株式	エマージング株式マザーファンド	MSCIエマージング・マーケット・インデックス（円ベース）
国内リート	国内リートマザーファンド	東証REIT指数（配当込み）
海外リート	海外リートマザーファンド	S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円ベース）

## 運用経過の説明

### 世界8資産ファンド 安定コース

#### 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

#### 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドを通じて、国内債券、海外債券、エマージング債券、国内株式、海外株式、エマージング株式、国内リート及び海外リートの8つの資産に投資を行った結果、国内債券と国内リートを除いた全資産が上昇となり、基準価額は上昇しました。

#### [組入マザーファンドの当作成対象期間における騰落率]

組入ファンド	騰落率
国内債券マザーファンド	△0.8%
海外債券マザーファンド	1.3%
エマージング債券マザーファンド	4.2%
国内株式マザーファンド	4.0%
海外株式マザーファンド	9.5%
エマージング株式マザーファンド	6.7%
国内リートマザーファンド	△5.5%
海外リートマザーファンド	9.5%

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第37期		項目の概要
	(2024年5月9日 ～2024年11月8日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	75円	0.554%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は13,547円です。
(投信会社)	(38)	(0.277)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(34)	(0.250)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 4)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.029	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 2)	(0.012)	
(先物・オプション)	( 0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.002)	
(投資証券)	( 2)	(0.015)	
(c) 有価証券取引税	1	0.006	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 1)	(0.004)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.000)	
(投資証券)	( 0)	(0.001)	
(d) その他費用	9	0.066	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 2)	(0.013)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	( 7)	(0.051)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	89	0.655	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

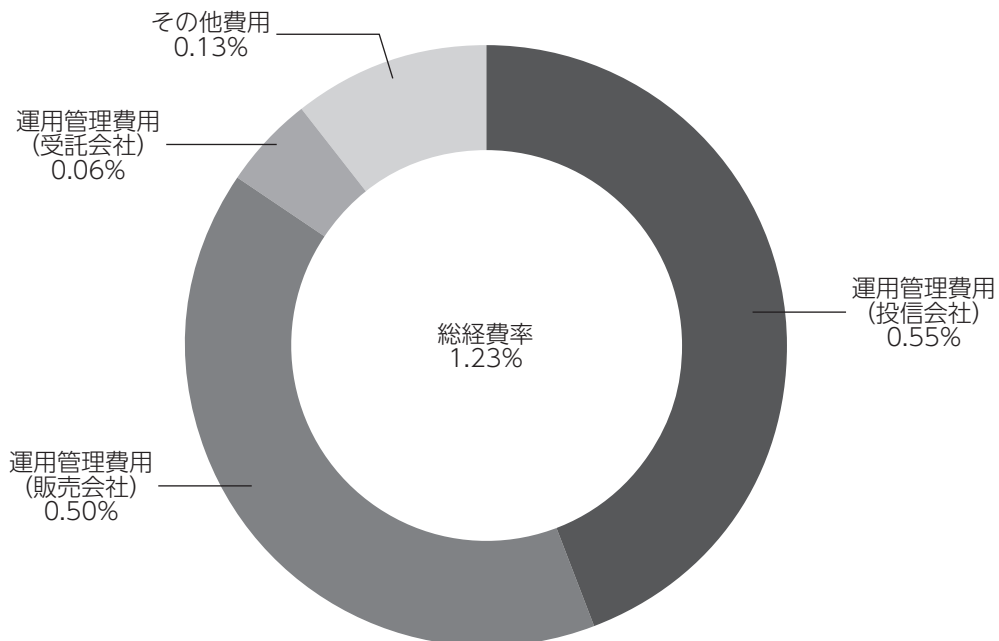
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.23%です。



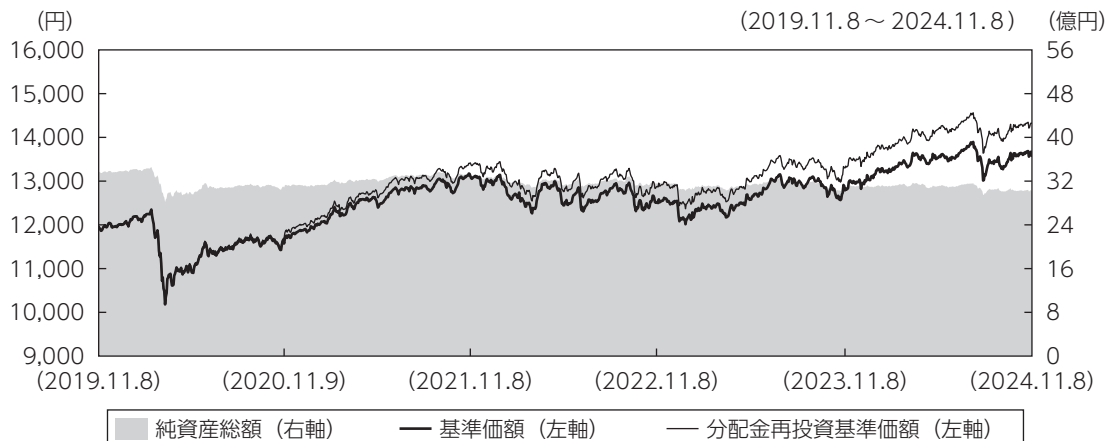
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



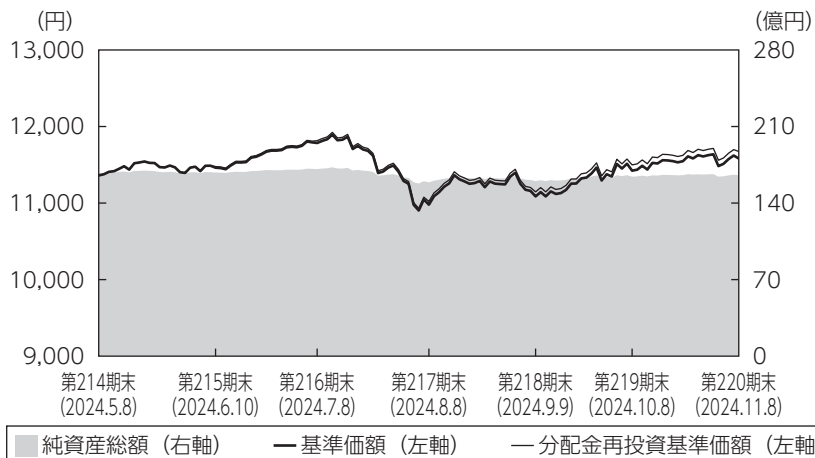
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2019年11月8日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2019年11月8日 期首	2020年11月9日 決算日	2021年11月8日 決算日	2022年11月8日 決算日	2023年11月8日 決算日	2024年11月8日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	11,957	11,574	13,117	12,505	12,789	13,579
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	125	150	80	130	190
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△2.1	14.7	△4.1	3.3	7.7
参考指数の騰落率 (%)	—	△1.3	14.8	△1.8	4.7	9.7
純資産総額 (百万円)	3,368	3,082	3,327	3,154	3,064	3,000

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。各マザーファンドのベンチマークについては、後掲の<当ファンドが組み入れているマザーファンドのベンチマークについて>をご参照ください。
- (注2) 参考指数は当ファンドが投資対象とする各マザーファンドのベンチマークの日次リターンデータをもとに、各マザーファンドへの基本配分比率の割合で当社が独自に算出しております (以下同じ)。

## ■ 世界8資産ファンド 分配コース

### ■ 基準価額等の推移



第215期首： 11,361円  
 第220期末： 11,582円  
 (既払分配金90円)  
 騰落率： 2.8%  
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドを通じて、国内債券、海外債券、エマージング債券、国内株式、海外株式、エマージング株式、国内リート及び海外リートの8つの資産に投資を行った結果、国内債券と国内リートを除いた全資産が上昇となり、基準価額は上昇しました。

#### [組入マザーファンドの当作成対象期間における騰落率]

組入ファンド	騰落率
国内債券マザーファンド	△0.8%
海外債券マザーファンド	1.3%
エマージング債券マザーファンド	4.2%
国内株式マザーファンド	4.0%
海外株式マザーファンド	9.5%
エマージング株式マザーファンド	6.7%
国内リートマザーファンド	△5.5%
海外リートマザーファンド	9.5%

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第215期～第220期		項目の概要
	(2024年5月9日 ～2024年11月8日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	70円	0.609%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,452円です。
(投信会社)	(35)	(0.305)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(32)	(0.277)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 3)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.035	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 2)	(0.015)	
(先物・オプション)	( 0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.002)	
(投資証券)	( 2)	(0.018)	
(c) 有価証券取引税	1	0.007	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 1)	(0.005)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.000)	
(投資証券)	( 0)	(0.002)	
(d) その他費用	9	0.077	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 3)	(0.023)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	( 6)	(0.052)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	83	0.728	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

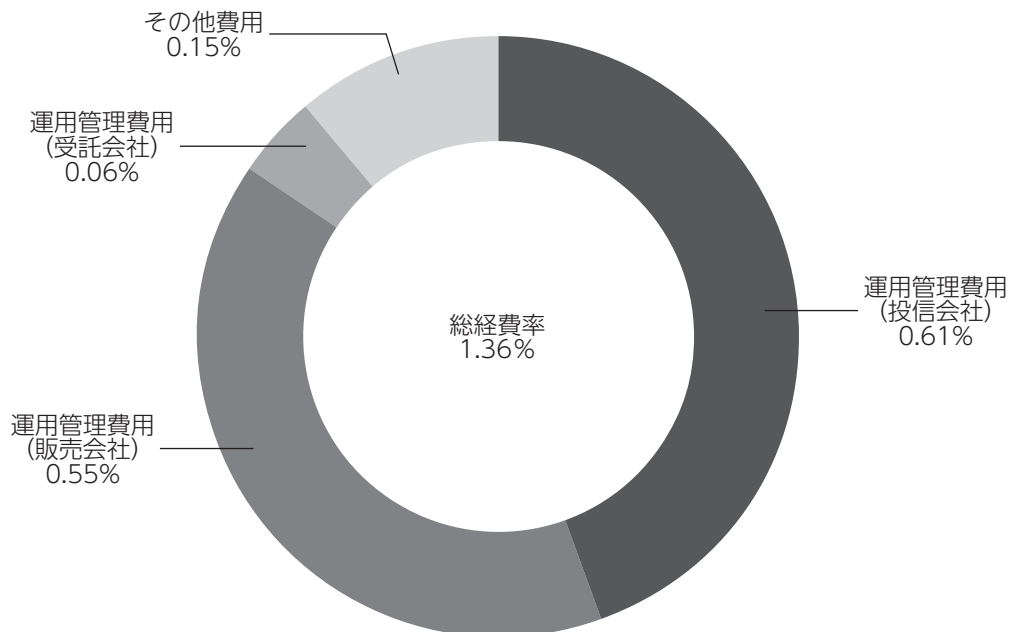
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。



## (参考情報)

### ◆総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.36%です。



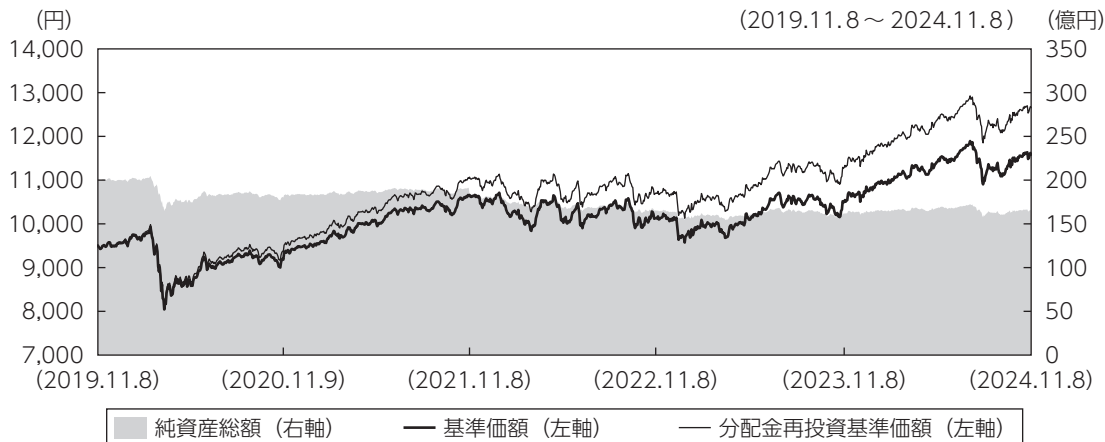
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



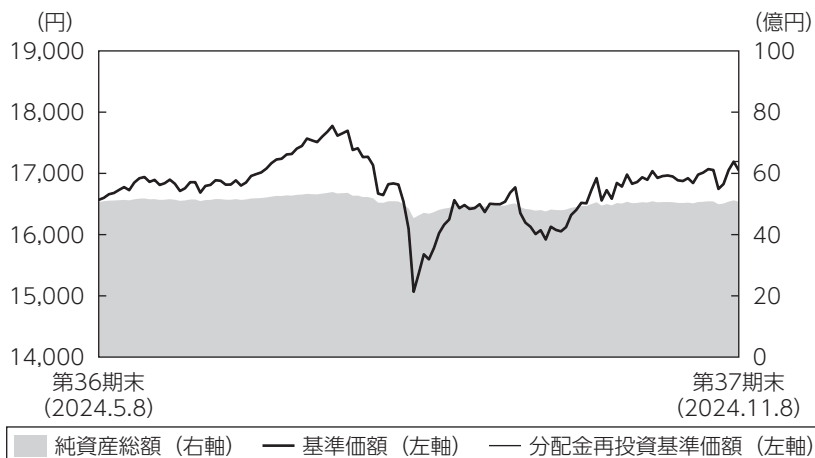
- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2019年11月8日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2019年11月8日 期首	2020年11月9日 決算日	2021年11月8日 決算日	2022年11月8日 決算日	2023年11月8日 決算日	2024年11月8日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	9,506	9,182	10,661	10,129	10,497	11,582
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	180	180	180	180	180
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△1.5	18.2	△3.3	5.5	12.1
参考指数の騰落率	(%)	—	△0.4	18.7	△0.5	7.2	14.4
純資産総額	(百万円)	20,156	18,007	18,446	16,519	16,155	16,535

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。各マザーファンドのベンチマークについては、後掲の<当ファンドが組み入れているマザーファンドのベンチマークについて>をご参照ください。
- (注2) 参考指数は当ファンドが投資対象とする各マザーファンドのベンチマークの日次リターンデータをもとに、各マザーファンドへの基本配分比率の割合で当社が独自に算出しております (以下同じ)。

## ■ 世界8資産ファンド 成長コース

### ■ 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### ■ 基準価額の主な変動要因

各マザーファンドを通じて、国内債券、海外債券、エマージング債券、国内株式、海外株式、エマージング株式、国内リート及び海外リートの8つの資産に投資を行った結果、国内債券と国内リートを除いた全資産が上昇となり、基準価額は上昇しました。

#### [組入マザーファンドの当作成対象期間における騰落率]

組入ファンド	騰落率
国内債券マザーファンド	△0.8%
海外債券マザーファンド	1.3%
エマージング債券マザーファンド	4.2%
国内株式マザーファンド	4.0%
海外株式マザーファンド	9.5%
エマージング株式マザーファンド	6.7%
国内リートマザーファンド	△5.5%
海外リートマザーファンド	9.5%

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第37期		項目の概要
	(2024年5月9日 ～2024年11月8日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	112円	0.665%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は16,766円です。
(投信会社)	( 56)	(0.333)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 51)	(0.305)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 5)	(0.028)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	8	0.048	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 5)	(0.031)	
(先物・オプション)	( 0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.002)	
(投資証券)	( 2)	(0.015)	
(c) 有価証券取引税	2	0.012	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 2)	(0.010)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.000)	
(投資証券)	( 0)	(0.002)	
(d) その他費用	21	0.127	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 3)	(0.020)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	( 18)	(0.105)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	143	0.851	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

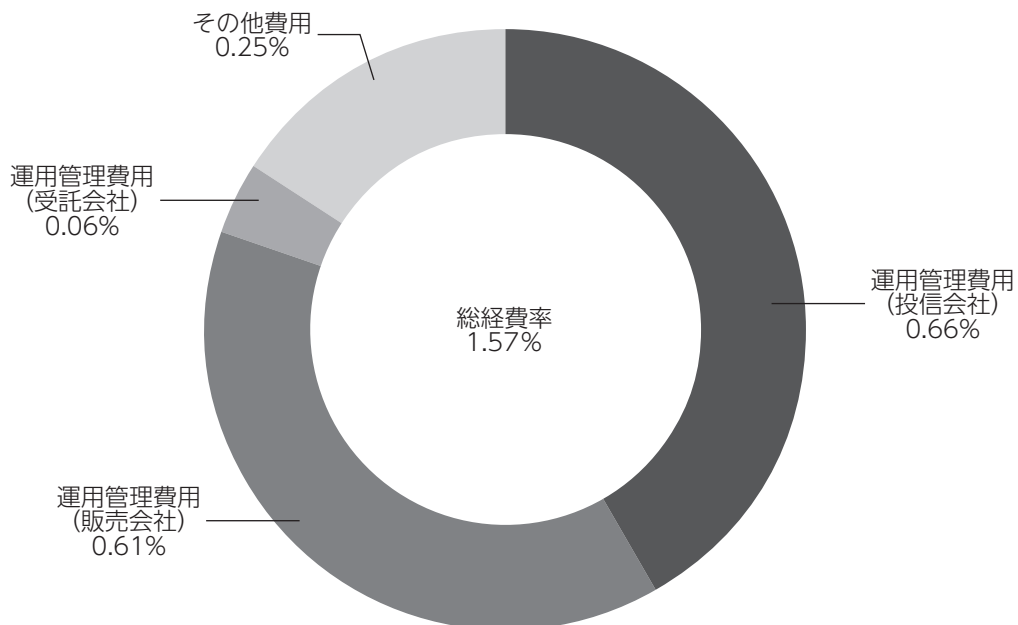
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.57%です。



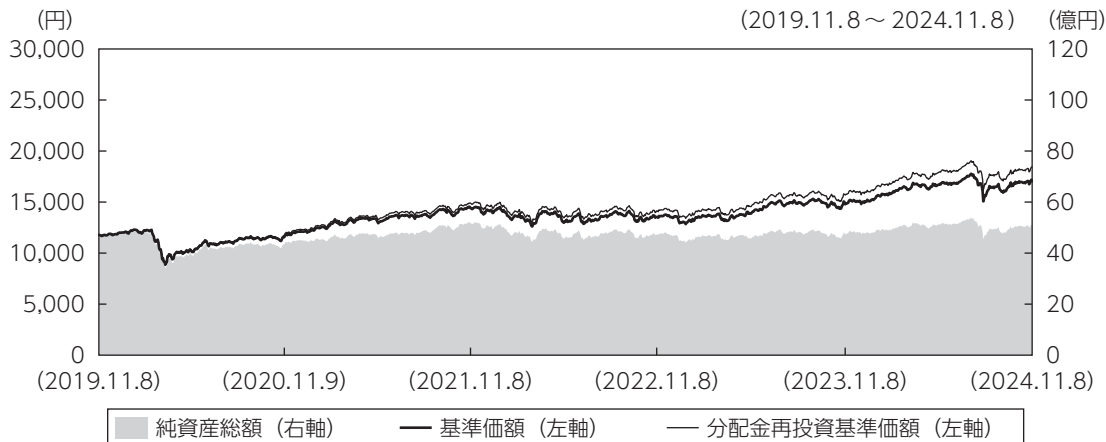
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、2019年11月8日の基準価額に合わせて指数化しています。

		2019年11月8日 期首	2020年11月9日 決算日	2021年11月8日 決算日	2022年11月8日 決算日	2023年11月8日 決算日	2024年11月8日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	11,799	11,559	14,430	13,543	14,784	17,050
期間分配金合計 (税引前)	(円)	-	180	220	150	235	315
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	-	△0.4	26.8	△5.1	10.9	17.5
参考指数の騰落率	(%)	-	△0.4	27.3	△0.5	13.2	20.9
純資産総額	(百万円)	4,717	4,331	5,168	4,718	4,715	5,076

- (注1) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。各マザーファンドのベンチマークについては、後掲の<当ファンドが組み入れているマザーファンドのベンチマークについて>をご参照ください。
- (注2) 参考指数は当ファンドが投資対象とする各マザーファンドのベンチマークの日次リターンデータをもとに、各マザーファンドへの基本配分比率の割合で当社が独自に算出しております (以下同じ)。

## ■ 世界8資産ファンド [安定コース・分配コース・成長コース]

### ■ 投資環境

#### ● 国内債券市況

国内債券市場は、NOMURA-BPI総合（以下、ベンチマーク）で見ると、0.9%下落しました。作成期首0.875%で始まった新発10年国債利回りは、良好な賃金動向などを背景に日銀による金融政策の正常化期待が高まる形で上昇しました。日銀は7月に利上げを実施した後、米国雇用指標の結果などを受け、急速に金利が低下し市場は一時混乱しましたが、その後は再度利上げ期待が高まる形で上昇し1.000%で作成期末を迎えました。

#### ● 海外債券市況

米国10年国債利回りは、インフレの鎮静化傾向や労働市場の減速懸念を背景にFRB（米連邦準備理事会）の利下げ観測が高まり低下したのち、大統領選におけるトランプ候補の当選期待や堅調な経済指標から低下幅を縮小しましたが、前作成期末対比低下しました。ドイツ10年国債利回りは、ユーロ圏の景気動向に対する懸念やECB（欧州中央銀行）の利下げ観測から低下したのち、米国の金利上昇につれて低下幅を縮小しましたが、前作成期末対比低下しました。

#### ● エマージング債券市況

新興国債券市場は、上昇しました。作成期初から9月にかけて、米コアCPI（消費者物価指数）の伸びが鈍化したこと等による利下げ期待の高まりや、9月のFOMC（米連邦公開市場委員会）において、50bpの利下げが決定されたこと等から上昇しました。その後は、堅調な米雇用統計等を受けて利下げ期待が後退し、上昇幅を縮小しました。

#### ● 国内株式市況

2024年5月から7月にかけては、日米金融政策の動向に応じて一進一退の展開となりました。8月月初には軟調な米雇用統計などを背景とした景気後退懸念から調整しましたが、作成期末にかけては市場期待を上回る米経済指標などから過度な懸念が後退したことで値を戻す形となりました。

### ●海外株式市況

外国株式市場は上昇しました。2024年5月から6月にかけては、AI関連投資拡大への期待から関連業種・銘柄が牽引する形で上昇しました。7月から9月上旬にかけては、景気や米大統領選に対する不透明感から一進一退の推移となりました。9月中旬から10月にかけてはFRBが利下げを行う一方で景気への懸念が後退したため上昇しました。11月は米大統領選においてトランプ氏が勝利確実となり、財政政策への期待感から上昇し作成期末を迎えました。

### ●エマージング株式市況

新興国株式市場は、米国の雇用統計の下振れを背景に景気後退リスクを警戒した売りが膨らみ一時的に急落する局面もありましたが、米国の利下げと米国経済に対するソフトランディング見通しを受けた投資家のリスク選好の強まり、中国の大規模な金融緩和や景気刺激策、新興国企業の業績拡大見通しなどが支援材料となり、作成期を通じて概ね上昇基調となりました。

### ●国内リート市況

国内リート市場は下落しました。作成期首から国内長期金利の上昇を背景に下落しました。6月以降は日銀の金融政策等の動向に左右されレンジ相場となりました。8月には、急速な円高などを受けて下落したものの、日銀の内田副総裁が市場が不安定な状況下で利上げしないと述べたことなどが好感され上昇に転じました。しかし、その後は国内長期金利の上昇が重しとなり軟調に推移しました。

### ●海外リート市況

作成期初、堅調な米国経済を背景にFRBの利下げ期待が後退する中で上値の重い展開となりましたが、インフレ鈍化による金融緩和期待が強まると上昇に転じました。8月上旬には米国の景気後退懸念から反落する場面もあったものの、欧米金融当局の金融緩和期待が下支えし上昇基調を辿りました。9月半ばにFRBが利下げを実施して以降は、新米大統領の経済政策による財政赤字拡大への懸念で米長期金利が上昇したことから作成期末にかけて軟調な展開となりました。

### ●為替市況

為替市場では、米ドル・ユーロともに前作成期末対比対円で下落しました。米ドルは、FRBによる利下げ観測の高まりや日銀の利上げを背景に下落したのち、日銀が追加利上げを急がない姿勢を示したことや米国の利下げ観測が後退したことから下落幅を縮小しました。ユーロは、フランス選挙などユーロ圏内の政治的不透明感の高まりやECBの利下げ観測から下落したのち、日銀の利上げ慎重姿勢から下落幅を縮小しました。



## ポートフォリオについて

### ●世界8資産ファンド 安定コース

期を通じて、国内債券マザーファンド受益証券、海外債券マザーファンド受益証券、エマージング債券マザーファンド受益証券、国内株式マザーファンド受益証券、海外株式マザーファンド受益証券、エマージング株式マザーファンド受益証券、国内リートマザーファンド受益証券及び海外リートマザーファンド受益証券への投資を行いました。

各マザーファンド受益証券の組入れについては、期を通じて概ね基本配分比率に合わせて分散投資し、その組入比率の合計を高位に維持しました。

為替については、期を通じて実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行っておりません。

### 【マザーファンド別組入比率】

(単位：%)

マザーファンド名	期首組入比率	期末組入比率
国内債券マザーファンド	38.2	39.1
海外債券マザーファンド	14.8	15.1
エマージング債券マザーファンド	5.8	4.8
国内株式マザーファンド	9.7	9.9
海外株式マザーファンド	4.7	5.0
エマージング株式マザーファンド	5.4	5.3
国内リートマザーファンド	9.7	9.4
海外リートマザーファンド	10.3	9.9
その他	1.5	1.6

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

## ●世界8資産ファンド 分配コース

作成期を通じて、国内債券マザーファンド受益証券、海外債券マザーファンド受益証券、エマージング債券マザーファンド受益証券、国内株式マザーファンド受益証券、海外株式マザーファンド受益証券、エマージング株式マザーファンド受益証券、国内リートマザーファンド受益証券及び海外リートマザーファンド受益証券への投資を行いました。

各マザーファンド受益証券の組入れについては、作成期を通じて概ね基本配分比率に合わせて分散投資し、その組入比率の合計を高位に維持しました。

為替については、作成期を通じて実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行っておりません。

## 【マザーファンド別組入比率】

(単位：%)

マザーファンド名	作成期首組入比率	作成期末組入比率
国内債券マザーファンド	17.9	18.0
海外債券マザーファンド	30.0	29.9
エマージング債券マザーファンド	11.2	10.6
国内株式マザーファンド	4.8	4.9
海外株式マザーファンド	10.2	10.4
エマージング株式マザーファンド	5.2	5.4
国内リートマザーファンド	4.6	4.4
海外リートマザーファンド	14.7	15.2
その他	1.4	1.2

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

## ●世界8資産ファンド 成長コース

期を通じて、国内債券マザーファンド受益証券、海外債券マザーファンド受益証券、エマーシング債券マザーファンド受益証券、国内株式マザーファンド受益証券、海外株式マザーファンド受益証券、エマーシング株式マザーファンド受益証券、国内リートマザーファンド受益証券及び海外リートマザーファンド受益証券への投資を行いました。

各マザーファンド受益証券の組入れについては、期を通じて概ね基本配分比率に合わせて分散投資し、その組入比率の合計を高位に維持しました。

為替については、期を通じて実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行っておりません。

### 【マザーファンド別組入比率】

(単位：%)

マザーファンド名	期首組入比率	期末組入比率
国内債券マザーファンド	4.0	4.3
海外債券マザーファンド	4.5	4.6
エマーシング債券マザーファンド	11.1	10.1
国内株式マザーファンド	33.9	34.9
海外株式マザーファンド	15.0	15.6
エマーシング株式マザーファンド	11.4	10.6
国内リートマザーファンド	8.5	8.2
海外リートマザーファンド	10.0	10.5
その他	1.5	1.2

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

●国内債券マザーファンド

金利戦略は金利上昇を見込み、修正デュレーション（金利感応度）をベンチマーク対比短期化とする戦略を継続しました。残存年限別構成戦略は、長期及び超長期ゾーンのアンダーウェイトを基本としつつ、金利上昇が進んだゾーンのアンダーウェイトを徐々に解消しました。種別構成戦略は、事業債のオーバーウェイトを維持しました。また、債券組入比率は高位を維持しました。

作成期末：2024年11月8日

作成期末		
	ファンド	ベンチマーク
平均クーポン	0.74%	0.82%
最終利回り	0.97%	1.01%
残存年数	8.30年	10.21年
修正デュレーション	7.35	8.62

(注) ファンドの各値は、組入債券の評価額合計を基に加重平均した値です。

●海外債券マザーファンド

ポートフォリオ全体の修正デュレーションは、期初ベンチマーク対比長めとし、期末近くに長期化幅を縮小しました。国別金利リスク配分は米国・ユーロ圏中心に長めとし、中国では短めとしました。債券残存期間構成は、米国でスティープ化を見込み中長期ゾーン中心にオーバーウェイトとしました。通貨別配分は、中国元をアンダーウェイトとし、米ドルやユーロ・英ポンド・豪ドルなどのオーバーウェイトを機動的に構築しました。

作成期末：2024年11月8日

作成期末		
	ファンド	ベンチマーク
平均クーポン	2.56%	2.75%
最終利回り	3.72%	3.58%
平均残存期間	7.96年	8.32年
修正デュレーション	6.53	6.47

(注) ファンドの各値は、組入債券の評価額合計を基に加重平均した値です。

## ●エマージング債券マザーファンド

世界のエマージング諸国の公社債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指しました。

国別配分は、インド、コスタリカの組入比率を引き上げた一方、ルーマニア、サウジアラビアを引き下げました。

作成期末：2024年11月8日

作成期末	
	ファンド
平均クーポン	5.3%
最終利回り	8.1%
平均残存期間	13.7年
修正デュレーション	8.2

(注) ファンドの各値は、組入債券の評価額合計を基に加重平均した値です。

## ●国内株式マザーファンド

中長期的に企業価値が高まっていくと期待される企業群で、かつバリュエーション面でも魅力が高いと考えられる企業に対し選別投資をしていくことでベンチマーク対比での超過収益獲得に努めました。主な購入銘柄は、「大塚ホールディングス」、「村田製作所」、「富士通」などです。一方で、当面の業績動向が相対的に見劣りすると予想される銘柄などを売却しました。主な売却銘柄は、「ニチアス」、「東洋水産」、「第一三共」などです。

作成期末：2024年11月8日

### 【組入上位10業種】

(単位：%)

作成期末		
順位	業種	比率
1	電気機器	19.5
2	銀行業	11.1
3	輸送用機器	7.3
4	化学	6.8
5	保険業	6.5
6	サービス業	6.2
7	情報・通信業	6.1
8	精密機器	5.4
9	卸売業	4.1
10	医薬品	3.8

(注1) 比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 業種は東証33業種分類です。

## ●海外株式マザーファンド

日本を除く世界の先進国の株式市場を主たる投資対象とし、各国のファンダメンタルズ分析に基づく国別投資魅力度の分析ならびに個別企業の投資価値判断を行い、中・長期的に投資魅力が高いと判断される銘柄に投資しました。各国の景気や金融政策、企業業績や政治リスクの動向等を見極めつつ、銘柄入替や保有比率調整を実施しました。セクター別では、情報技術セクターの比率を高め維持しました。

作成期末：2024年11月8日

## 【業種別上位10業種】

(単位：%)

作成期末		
順位	業種	比率
1	ソフトウェア・サービス	15.8
2	半導体・半導体製造装置	9.8
3	資本財	9.7
4	メディア・娯楽	8.4
5	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	7.4
6	ヘルスケア機器・サービス	6.7
7	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	6.6
8	金融サービス	6.3
9	銀行	5.0
10	一般消費財・サービス流通・小売り	3.9

(注1) 比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 業種は世界産業分類基準です。

## ●エマージング株式マザーファンド

個別銘柄の売買などの結果、国別配分では中国などの組入比率が上昇した一方、韓国などの組入比率が低下しました。業種配分では公益事業などの組入比率が上昇した一方、エネルギーなどの組入比率が低下しました。株式の組入比率は高位を維持しました。組入外貨建資産に対して為替ヘッジは行いませんでした。

作成期末：2024年11月8日

### 【国（市場）別上位】 (単位：%)

作成期末		
順位	国・地域名	比率
1	台湾	17.2
2	インド	17.0
3	ケイマン諸島	14.9
4	中国	12.7
5	韓国	8.2
6	南アフリカ	4.9
7	ブラジル	4.5
8	サウジアラビア	2.3
9	香港	1.9
10	インドネシア	1.8

### 【組入上位10銘柄】 (単位：%)

作成期末				
順位	銘柄	国・地域名	業種	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾	半導体・半導体製造装置	8.8
2	TENCENT HOLDINGS LTD	ケイマン諸島	メディア・娯楽	5.4
3	ALIBABA GROUP HOLDING LTD	ケイマン諸島	一般消費財・サービス流通・小売	3.4
4	INFOSYS LTD	インド	ソフトウェア・サービス	2.1
5	SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.0
6	EMBASSY OFFICE PARKS REIT	インド	エクイティ不動産投資信託 (REIT)	1.8
7	SAMSUNG ELECTRONICS-PFD	韓国	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	1.6
8	KB FINANCIAL GROUP INC	韓国	銀行	1.6
9	POWER GRID CORP OF INDIA LTD	インド	公益事業	1.5
10	360 ONE WAM LTD	インド	金融サービス	1.4

(注1) 比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 業種は世界産業分類基準です。

### 【業種別上位10業種】 (単位：%)

作成期末		
順位	業種	比率
1	半導体・半導体製造装置	12.2
2	銀行	12.1
3	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	9.6
4	金融サービス	7.7
5	メディア・娯楽	6.6
6	公益事業	5.9
7	一般消費財・サービス流通・小売り	5.7
8	資本財	5.7
9	耐久消費財・アパレル	3.5
10	食品・飲料・タバコ	3.4

●国内リートマザーファンド

分配金と資産価値の成長性、J-R-E-I-T価格の割安性などを重視して銘柄間のウェイト調整を行いました。具体的には、収益の改善が期待できることなどから、野村不動産マスターファンド投資法人などを追加購入しました。一方で、投資口価格等のバリュエーションを評価し、ユナイテッド・アーバン投資法人などの一部売却を行いました。組入比率は高位を維持しました。

作成期末：2024年11月8日

【組入上位10銘柄】

(単位：%)

作成期末		
順位	銘柄	比率
1	KDX不動産投資法人	10.0
2	野村不動産マスターファンド投資法人	9.4
3	ラサールロジポート投資法人	7.4
4	GLP投資法人	7.1
5	日本都市ファンド投資法人	6.3
6	日本ビルファンド投資法人	6.0
7	アドバンス・レジデンス投資法人	5.9
8	大和証券オフィス投資法人	5.3
9	オリックス不動産投資法人	4.3
10	日本ロジスティクスファンド投資法人	3.8

(注) 比率はファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。

●海外リートマザーファンド

北米では、小売施設銘柄や産業用銘柄、ヘルスケア銘柄などの銘柄を中心に投資を行いました。欧州では、フランスの小売施設などに投資を行い、アジア・オセアニア地域では、シンガポールの工業銘柄やオーストラリアの工業銘柄や小売施設、香港の小売施設などを選別して投資しました。

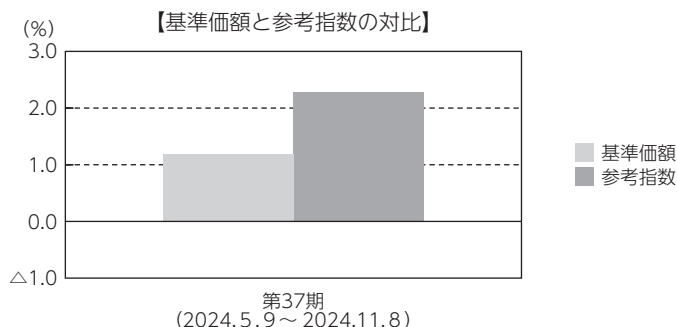
リート組入比率は高位を維持しました。為替ヘッジは行いませんでした。



## ■ 世界8資産ファンド 安定コース

### ■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

### ■ 分配金

当期の収益分配金は、利子・配当等収益等の水準、基準価額的水準および市場動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

#### ■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2024年5月9日 ～2024年11月8日
当期分配金（税引前）	85円
対基準価額比率	0.62%
当期の収益	85円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	3,579円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

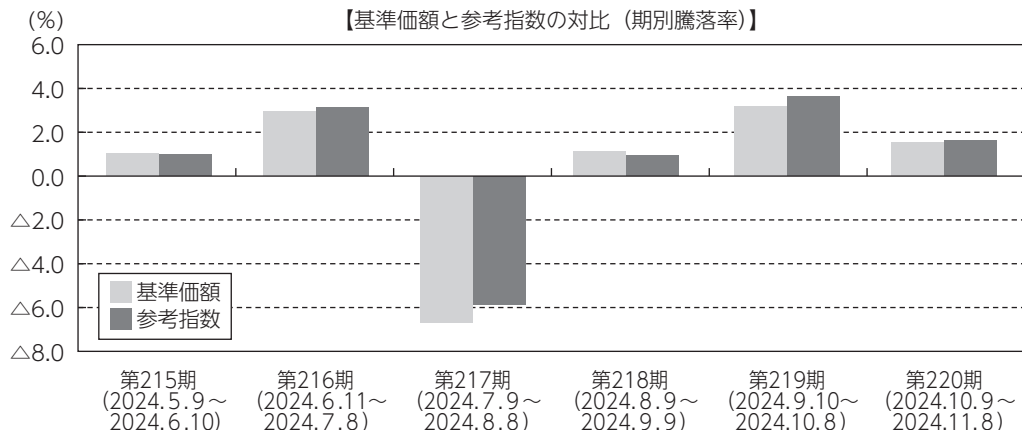
(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## ■世界8資産ファンド 分配コース

### ■ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## ■分配金

当作成期の収益分配金は、安定した分配を継続的に行うことを目指し、利子・配当等収益等の水準、基準価額的水準および市場動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

### ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第215期	第216期	第217期	第218期	第219期	第220期
	2024年5月9日 ~2024年6月10日	2024年6月11日 ~2024年7月8日	2024年7月9日 ~2024年8月8日	2024年8月9日 ~2024年9月9日	2024年9月10日 ~2024年10月8日	2024年10月9日 ~2024年11月8日
当期分配金（税引前）	15円	15円	15円	15円	15円	15円
対基準価額比率	0.13%	0.13%	0.14%	0.14%	0.13%	0.13%
当期の収益	15円	15円	9円	15円	15円	15円
当期の収益以外	-円	-円	5円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	1,969円	2,292円	2,286円	2,295円	2,311円	2,315円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

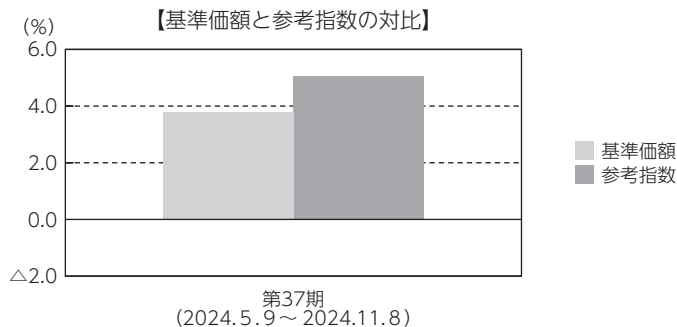
(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## ■ 世界8資産ファンド 成長コース

### ■ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

### ■ 分配金

当期の収益分配金は、利子・配当等収益等の水準、基準価額的水準および市場動向等を勘案して、下記のとおりといたしました。なお、収益分配に充てず信託財産内に留保した収益については、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

#### ■ 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2024年5月9日 ～2024年11月8日
当期分配金（税引前）	145円
対基準価額比率	0.84%
当期の収益	145円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	7,638円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●世界8資産ファンド 安定コース

当ファンドの運用方針に従い、各マザーファンド受益証券への投資を通じて、内外の公社債、株式及び不動産投資信託証券に投資を行い、信託財産の安定的な成長を目指します。引き続き、各マザーファンド受益証券への投資配分については、信託財産の純資産総額に対する基本配分比率を目処に投資を行います。また、実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行わない方針です。

### ●世界8資産ファンド 分配コース

当ファンドの運用方針に従い、各マザーファンド受益証券への投資を通じて、内外の公社債、株式及び不動産投資信託証券に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指します。引き続き、各マザーファンド受益証券への投資配分については、信託財産の純資産総額に対する基本配分比率を目処に投資を行います。また、実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行わない方針です。

### ●世界8資産ファンド 成長コース

当ファンドの運用方針に従い、各マザーファンド受益証券への投資を通じて、内外の公社債、株式及び不動産投資信託証券に投資を行い、信託財産の成長と安定した収益の確保を目指します。引き続き、各マザーファンド受益証券への投資配分については、信託財産の純資産総額に対する基本配分比率を目処に投資を行います。また、実質外貨建資産に対し、為替ヘッジは行わない方針です。

### ●国内債券マザーファンド

円安の進行や企業の値上げによって物価上昇圧力が継続すると見込まれ、更なる日銀の金融政策の正常化が期待されることから、金利は上昇するものと見込みます。そのような環境下、金利戦略は修正デュレーションを機動的に操作し、残存期間別構成戦略は利回り曲線上で割安と判断する年限を厚めに保有します。種別構成・個別銘柄戦略は信用力が安定的で、且つ利回り面で妙味があると判断される銘柄の組み入れを検討する方針です。

### ●海外債券マザーファンド

米国ではトランプ大統領当選となり議会でも共和党優勢とみられ、市場ではインフレの再燃が意識されているものの、関税強化による価格上昇は消費減圧力につながるほか、すでに変曲点を迎えたとみられる労働市場に対して減税策などの効果は限定的と考えます。欧州においても自動車大手の工場閉鎖など景気面の懸念が高まっており、世界経済の先行き懸念から欧米諸国の利下げへ向けた動きは継続を予想し、金利の低下とイールドカーブのスティープ化を予想します。

### ●エマージング債券マザーファンド

9月にFRB（米連邦準備理事会）が50bpの利下げを決定し、2025年にかけて金融緩和が続くと予想されます。先進国での利下げは先進国通貨建て新興国債券に優位に働くと考えられます。加えて、財政赤字の改善やインフレ鈍化の期待等に支えられ、新興国のファンダメンタルズは依然として底堅いと考えています。新興国債券市場は魅力的な水準にあり、相対的に価値の高い投資機会を選別的に探っていく方針です。

## ●国内株式マザーファンド

今後の国内株式市場は、金融政策の動きには留意が必要ですが、国内消費拡大を背景とした堅調な業績成長から緩やかな上昇基調に転じるものと予想します。今後の運用方針は、中長期的に企業価値が高まっていくと期待される企業群で、かつバリュエーション面でも魅力が高いと考えられる企業に選別投資していく方針です。

## ●海外株式マザーファンド

外国株式市場は、景気・企業業績への不透明感に加え、やや高めで推移するバリュエーションを背景に、短期的には上下のレンジを伴った横ばいで推移すると想定しております。運用方針としては、中長期的なファンダメンタルズの見通しが良好ながらも、短期的な業績の不透明感の高まりなどで割安感が強まった銘柄等に選別投資する方針です。株式組入比率は高位を維持します。為替ヘッジは行わない方針です。

## ●エマージング株式マザーファンド

持続可能な利益成長や配当支払いによる株主還元の見点から投資妙味が高いと判断される優良銘柄を厳選して投資する方針です。国別では、ベンチマーク対比で南アフリカなどの組入比率を高め、サウジアラビアなどの組入比率を低めにする方針です。業種別では、ベンチマーク対比で金融サービスなどの組入比率を高め、銀行などの組入比率を低めにする方針です。

## ●国内リートマザーファンド

国内リート市場は、日米の金融政策の先行きに対する市場の見方や金利の推移、世界的な不動産売買市場の動向を踏まえたリスク許容度の変化に影響される展開を想定しています。国内においては、地域別のオフィス賃貸市況動向などが注目される展開になると考えています。銘柄選択、ポートフォリオ構築に際し、保有資産の質や運用能力の調査・分析結果をベースに、分配金と資産価値の成長性等を考慮して実施していきます。

## ●海外リートマザーファンド

足元では、インフレが鈍化傾向を見せ、世界的に金融緩和が広がる中で、トランプ新大統領の経済政策による財政赤字拡大やインフレ再燃などへの懸念が広がっており注意が必要です。一部のセクターでファンダメンタルズの改善が見られるもののリート全体の収益改善は2025年以降になる見通しです。米国では、小売施設銘柄やヘルスケア銘柄など、欧州では小売施設銘柄など、アジア・オセアニア地域については、産業用銘柄などに注目して投資する方針です。

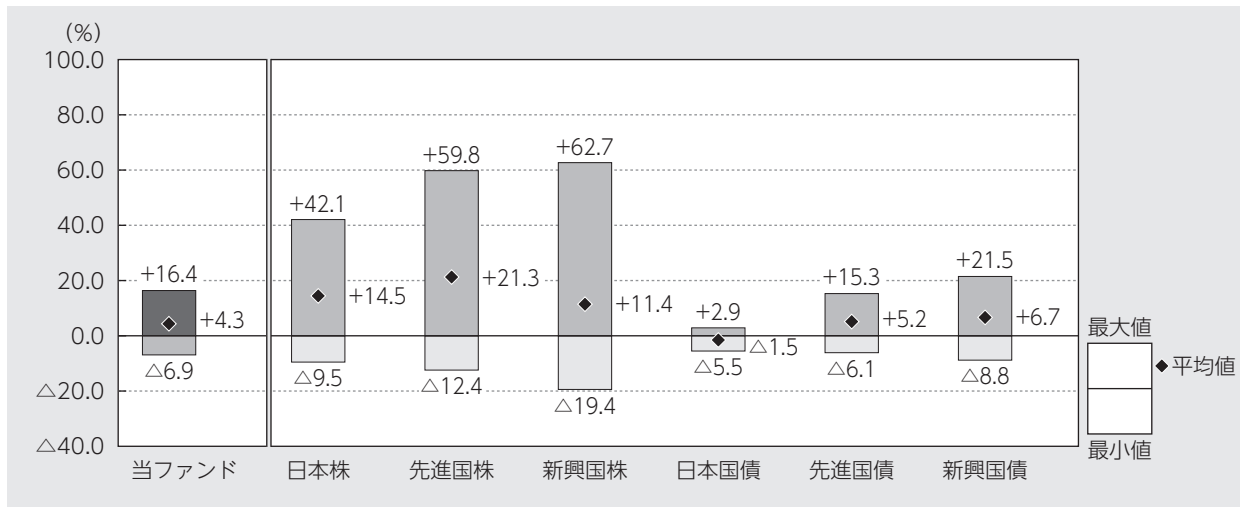
## 当ファンドの概要

### ■ 世界8資産ファンド [安定コース・分配コース・成長コース]

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2006年7月7日から無期限です。	
運用方針	<p>&lt;安定コース&gt; 世界の資産および地域（通貨）へ広く分散投資を行い、信託財産の安定的な成長を目指します。</p> <p>&lt;分配コース&gt; 世界の資産および地域（通貨）へ広く分散投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を目指します。</p> <p>&lt;成長コース&gt; 世界の資産および地域（通貨）へ広く分散投資を行い、信託財産の成長と安定した収益の確保を目指します。</p>	
主要投資対象	世界8資産ファンド	「国内債券マザーファンド」、「海外債券マザーファンド」、「エマージング債券マザーファンド」、「国内株式マザーファンド」、「海外株式マザーファンド」、「エマージング株式マザーファンド」、「国内リートマザーファンド」、「海外リートマザーファンド」の受益証券を主要投資対象とします。
	国内債券マザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
	海外債券マザーファンド	日本を除く世界主要先進国の公社債を主要投資対象とします。
	エマージング債券マザーファンド	世界のエマージング諸国の公社債を主要投資対象とします。
	国内株式マザーファンド	わが国の株式を主要投資対象とします。
	海外株式マザーファンド	日本を除く世界主要先進国の株式を主要投資対象とします。
	エマージング株式マザーファンド	世界のエマージング諸国の株式（DR（預託証券）を含みます。）を主要投資対象とします。
	国内リートマザーファンド	わが国の不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	海外リートマザーファンド	日本を除く世界各国の不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	国内債券、海外債券、エマージング債券、国内株式、海外株式、エマージング株式、国内リートおよび海外リートに分散投資を行い、安定的な投資成果を目指します。 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 エマージング債券マザーファンドの運用指図に関する権限をウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピーに、エマージング株式マザーファンドの運用指図に関する権限をオールスプリング・グローバル・インベストメンツ・エルエルシーに委託します。	
分配方針	<p>&lt;安定コース&gt; 毎年原則として5月8日および11月8日に決算を行い、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益等の全額を分配対象として、基準価額の水準および市況動向等を勘案し、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p> <p>&lt;分配コース&gt; 年12回（原則毎月8日）決算を行い、第3期以降、原則として安定した分配を継続的に行うことを目指し、利子・配当等収益等の水準、基準価額の水準および市場動向等を勘案し、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p> <p>&lt;成長コース&gt; 毎年原則として5月8日および11月8日に決算を行い、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益等の全額を分配対象として、基準価額の水準および市況動向等を勘案し、委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p> <p>収益分配に充てず信託財産内に留保した利益については、運用の基本方針に基づき運用を行います。</p>	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較

### ■ 世界8資産ファンド 安定コース



2019年11月～2024年10月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものとして計算しています。

#### \*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

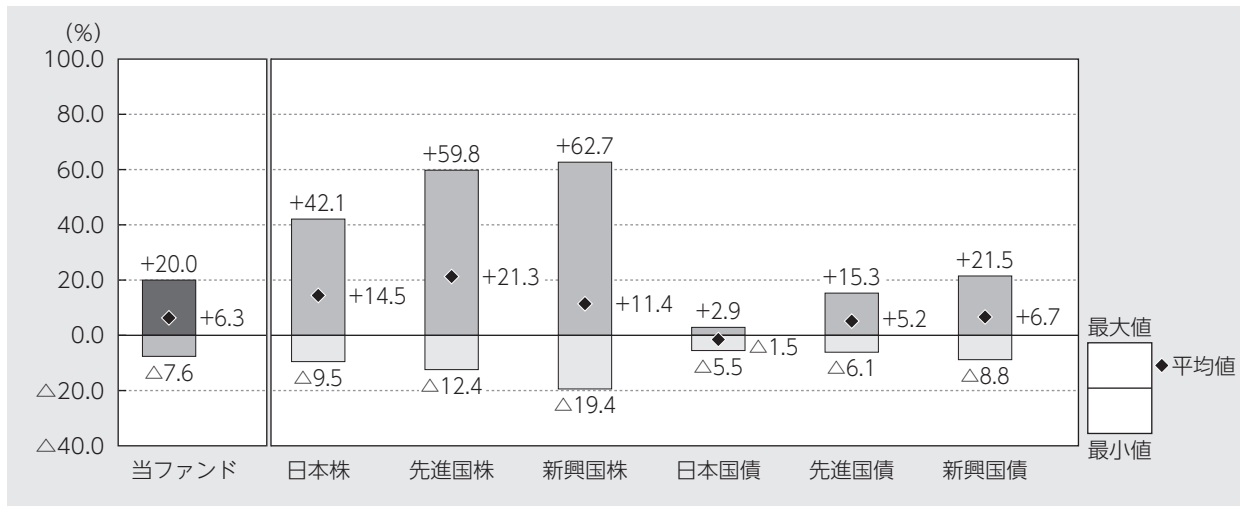
先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

■ 世界8資産ファンド 分配コース



2019年11月～2024年10月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

\*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

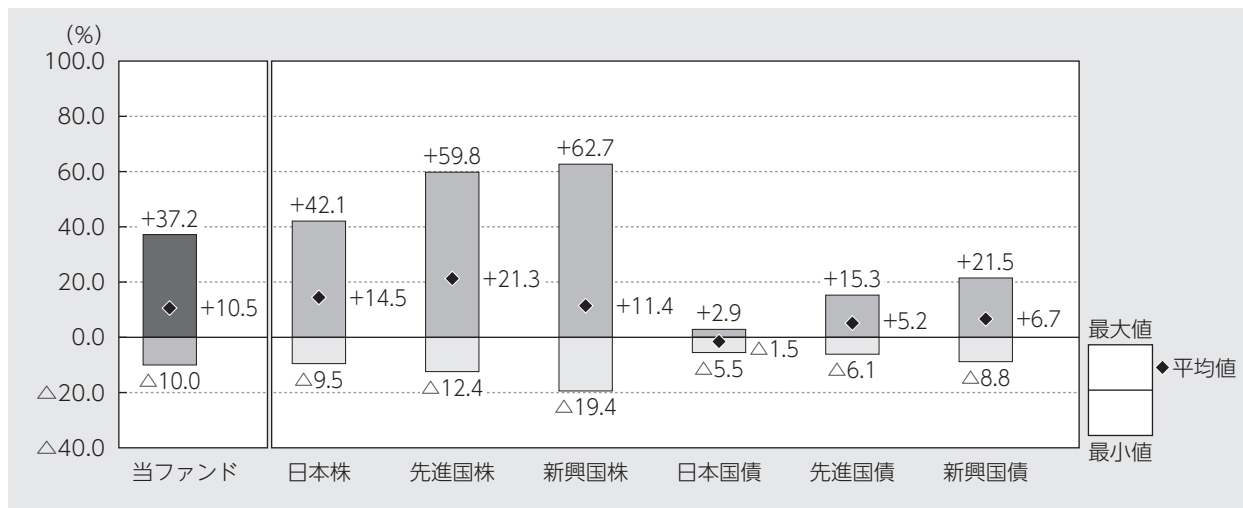
新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。



## ■ 世界8資産ファンド 成長コース



2019年11月～2024年10月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### ■ 世界8資産ファンド 安定コース

#### ■ 当ファンドの組入資産の内容 (2024年11月8日現在)

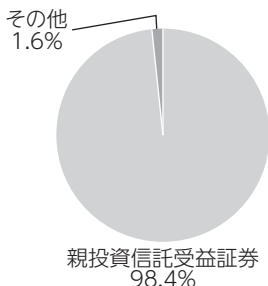
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：8ファンド)

	当期末
	2024年11月8日
国内債券マザーファンド	39.1%
海外債券マザーファンド	15.1
エマージング債券マザーファンド	4.8
国内株式マザーファンド	9.9
海外株式マザーファンド	5.0
エマージング株式マザーファンド	5.3
国内リートマザーファンド	9.4
海外リートマザーファンド	9.9
その他	1.6

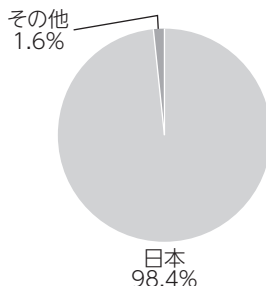
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

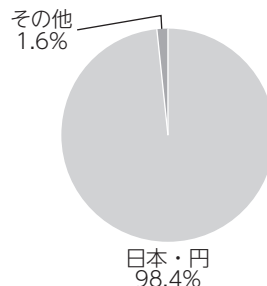
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

## ■ 純資産等

項目	当期末
	2024年11月8日
純資産総額	3,000,868,816円
受益権総口数	2,210,003,393口
1万口当たり基準価額	13,579円

(注) 当期中における追加設定元本額は15,889,278円、同解約元本額は95,414,393円です。

## ■ 世界8資産ファンド 分配コース

### ■ 当ファンドの組入資産の内容 (2024年11月8日現在)

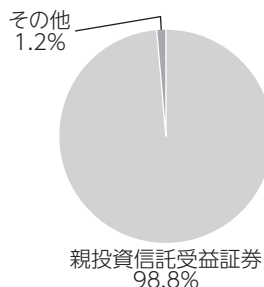
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：8ファンド)

	第220期末
	2024年11月8日
国内債券マザーファンド	18.0%
海外債券マザーファンド	29.9
エマージング債券マザーファンド	10.6
国内株式マザーファンド	4.9
海外株式マザーファンド	10.4
エマージング株式マザーファンド	5.4
国内リートマザーファンド	4.4
海外リートマザーファンド	15.2
その他	1.2

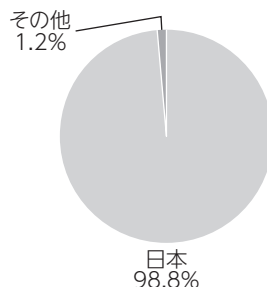
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

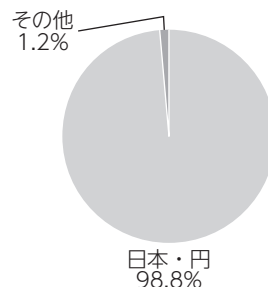
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

### ■ 純資産等

項目	第215期末	第216期末	第217期末	第218期末	第219期末	第220期末
	2024年6月10日	2024年7月8日	2024年8月8日	2024年9月9日	2024年10月8日	2024年11月8日
純資産総額	16,790,437,415円	17,112,192,335円	15,894,280,786円	16,012,480,265円	16,418,092,045円	16,535,902,145円
受益権総口数	14,648,437,378口	14,520,785,355口	14,476,360,205口	14,442,954,830口	14,372,460,257口	14,277,778,013口
1万口当たり基準価額	11,462円	11,785円	10,979円	11,087円	11,423円	11,582円

(注) 当作成期間 (第215期～第220期) 中における追加設定元本額は41,981,645円、同解約元本額は497,150,566円です。

■ 世界8資産ファンド 成長コース

■ 当ファンドの組入資産の内容 (2024年11月8日現在)

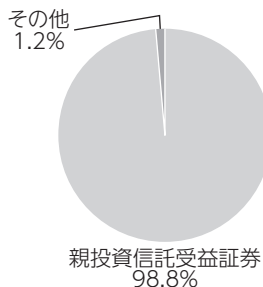
◆組入ファンド等 (組入ファンド数：8ファンド)

	当期末
	2024年11月8日
国内債券マザーファンド	4.3%
海外債券マザーファンド	4.6
エマージング債券マザーファンド	10.1
国内株式マザーファンド	34.9
海外株式マザーファンド	15.6
エマージング株式マザーファンド	10.6
国内リートマザーファンド	8.2
海外リートマザーファンド	10.5
その他	1.2

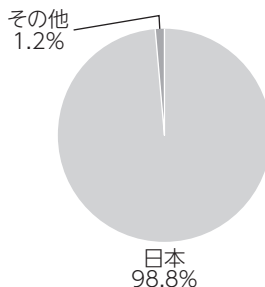
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

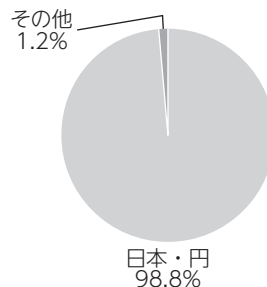
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

■ 純資産等

項目	当期末
	2024年11月8日
純資産総額	5,076,954,882円
受益権総口数	2,977,722,721口
1万口当たり基準価額	17,050円

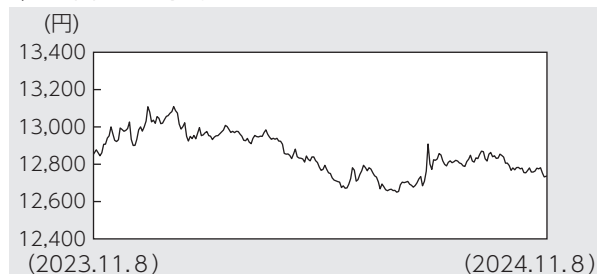
(注) 当期中における追加設定元本額は41,349,008円、同解約元本額は118,861,879円です。

## ■ 世界8資産ファンド [安定コース・分配コース・成長コース]

### ■ 組入ファンドの概要

[国内債券マザーファンド] (計算期間 2023年11月9日～2024年11月8日)

#### ◆ 基準価額の推移



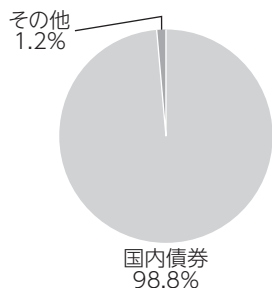
#### ◆ 組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
1 2 2 0回 国庫短期証券	日本・円	10.7%
1 5 6回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	3.4
3 7 5回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	3.1
3 7 4回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	3.0
1 2 5 7回 国庫短期証券	日本・円	2.9
4 5 7回 利付国庫債券 (2年)	日本・円	2.7
1 6 8回 利付国庫債券 (20年)	日本・円	2.6
1 5 3回 利付国庫債券 (20年)	日本・円	2.6
2 6回 物価連動国債 (10年)	日本・円	2.3
1 2 3 1回 国庫短期証券	日本・円	2.0
組入銘柄数	81銘柄	

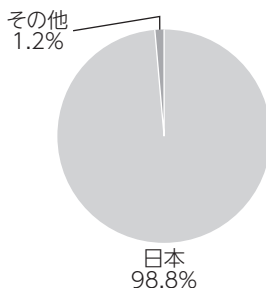
#### ◆ 1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

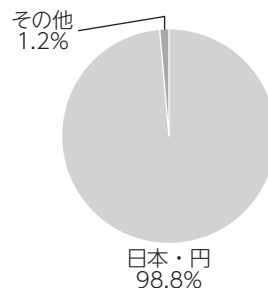
#### ◆ 資産別配分



#### ◆ 国別配分



#### ◆ 通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

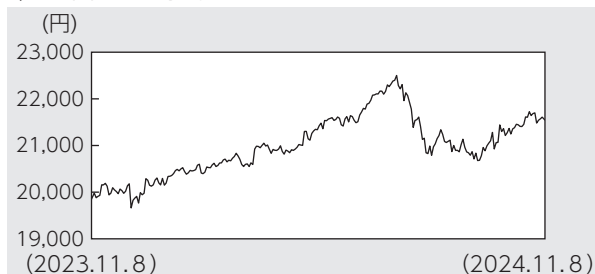
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[海外債券マザーファンド] (計算期間 2023年11月9日～2024年11月8日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

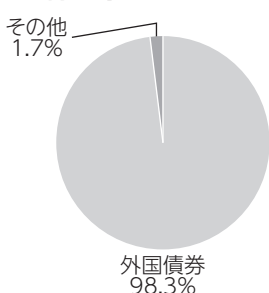
銘柄名	通貨	比率
US T N/B 1.75 01/31/29	アメリカ・ドル	8.3%
US T N/B 2.5 03/31/27	アメリカ・ドル	7.9
US T N/B 1.625 05/15/31	アメリカ・ドル	6.8
US T N/B 4.125 11/15/32	アメリカ・ドル	5.5
US T N/B 2.25 11/15/27	アメリカ・ドル	4.6
US T N/B 0.625 08/15/30	アメリカ・ドル	4.4
ITALY BTPS 4.4 05/01/33	ユーロ	3.3
US T N/B 4.5 02/15/36	アメリカ・ドル	3.3
CHINA GOVERNMENT BOND 1.67 06/15/26	オフショア・人民元	3.3
CHINA GOVERNMENT BOND 2.11 08/25/34	オフショア・人民元	3.0
組入銘柄数		46銘柄

◆1万口当たりの費用明細

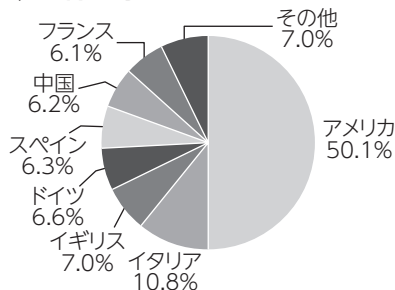
項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	5円 (5) (0)	0.024% (0.024) (0.000)
合計	5	0.024

期中の平均基準価額は20,992円です。

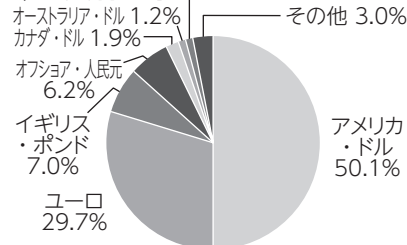
◆資産別配分



◆国別配分



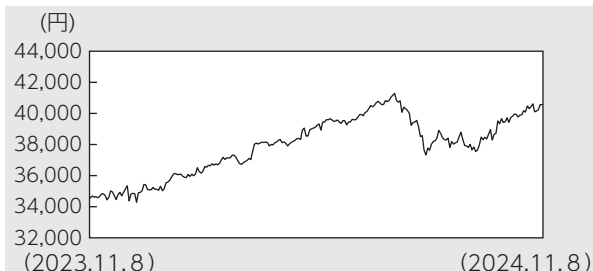
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。
- (注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
- (注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

# [エマージング債券マザーファンド] (計算期間 2023年11月9日～2024年11月8日)

## ◆基準価額の推移



## ◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
US T N/B 4.25 08/15/54	アメリカ・ドル	5.8%
US T N/B 4.625 05/15/54	アメリカ・ドル	4.4
US T N/B 3.875 08/15/34	アメリカ・ドル	3.7
DOMINICAN REPUBLIC 4.875 09/23/32	アメリカ・ドル	2.0
REPUBLIC OF ARGENTINA 07/09/35	アメリカ・ドル	2.0
HUNGARY 5.5 06/16/34	アメリカ・ドル	1.9
PANAMA 2.252 09/29/32	アメリカ・ドル	1.7
COLOMBIA 3.25 04/22/32	アメリカ・ドル	1.5
COSTA RICA GOVERNMENT 7.3 11/13/54	アメリカ・ドル	1.5
US T N/B 4.25 02/15/54	アメリカ・ドル	1.1
組入銘柄数		125銘柄

## ◆1万口当たりの費用明細

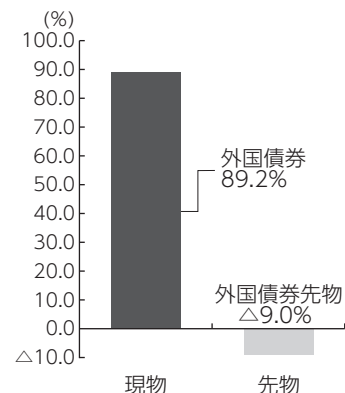
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション)	0円 ( 0)	0.001% (0.001)
(b) その他費用 (保管費用 (その他)	45 (45) ( 0)	0.119 (0.119) (0.001)
合計	46	0.120

期中の平均基準価額は37,936円です。

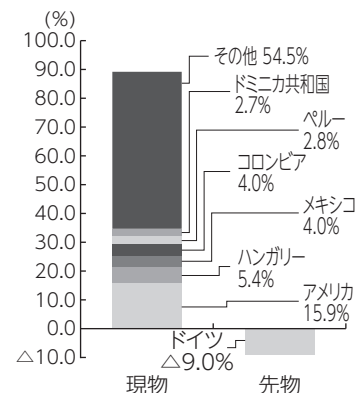
## ◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
EURO-BUND FUTURES	売建	4.2%
EURO-BOBL FUTURES	売建	3.1
EURO-SCHATZ FUT	売建	1.7
組入銘柄数		3銘柄

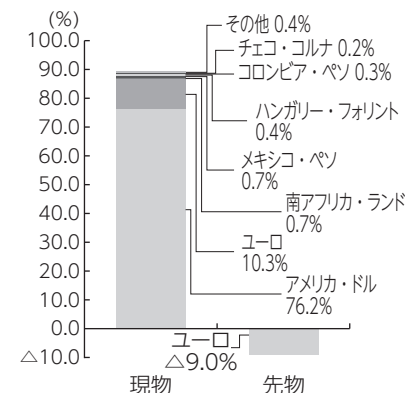
## ◆資産別配分



## ◆国別配分



## ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

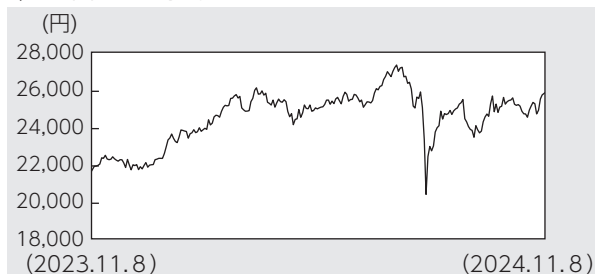
(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 資産別配分、国別配分、通貨別配分の先物比率は、買建比率-売建比率です。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【国内株式マザーファンド】（計算期間 2023年11月9日～2024年11月8日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

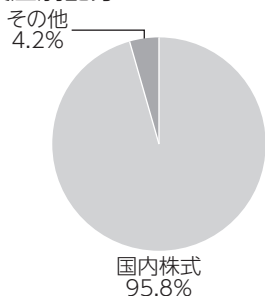
銘柄名	通貨	比率
三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本・円	6.4%
トヨタ自動車	日本・円	4.5
MS&ADインシュアランスグループホールディングス	日本・円	3.5
ソニーグループ	日本・円	3.2
三井住友フィナンシャルグループ	日本・円	3.1
HOYA	日本・円	2.5
三井物産	日本・円	2.4
キーエンス	日本・円	2.4
T&Dホールディングス	日本・円	2.4
信越化学工業	日本・円	2.4
組入銘柄数	83銘柄	

◆1万口当たりの費用明細

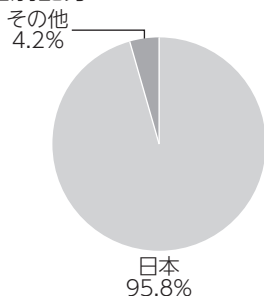
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	8円 (8)	0.033% (0.033)
合計	8	0.033

期中の平均基準価額は24,511円です。

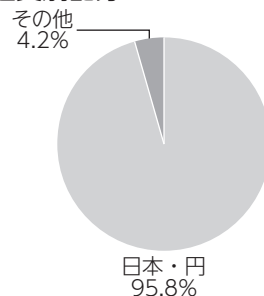
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

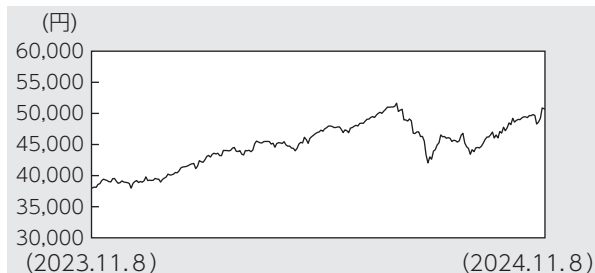
(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。



## [海外株式マザーファンド] (計算期間 2023年11月9日～2024年11月8日)

### ◆基準価額の推移



### ◆組入上位10銘柄

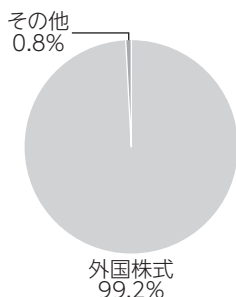
銘柄名	通貨	比率
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	6.0%
NVIDIA CORP	アメリカ・ドル	5.6
APPLE INC	アメリカ・ドル	4.6
SERVICENOW INC	アメリカ・ドル	3.4
ALPHABET INC-CL A	アメリカ・ドル	2.9
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	2.9
SCOUT24 SE	ユーロ	2.4
ADOBE INC	アメリカ・ドル	2.4
MASTERCARD INC	アメリカ・ドル	2.4
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ・ドル	2.3
組入銘柄数		66銘柄

### ◆1万口当たりの費用明細

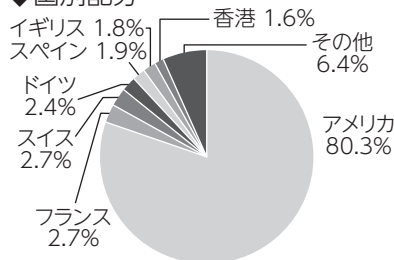
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資証券)	92円 ( 91) ( 1)	0.205% (0.202) (0.003)
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資証券)	22 ( 22) ( 0)	0.049 (0.049) (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	50 ( 50) ( 0)	0.111 (0.111) (0.000)
合計	164	0.365

期中の平均基準価額は44,892円です。

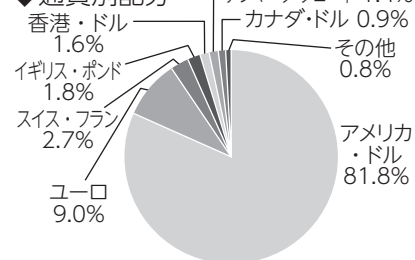
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

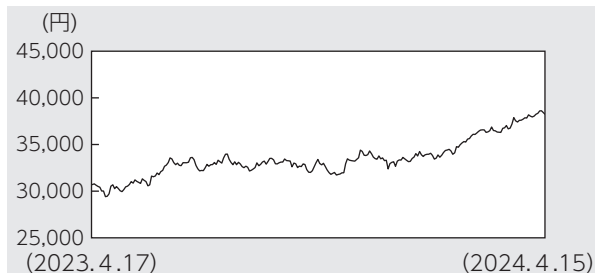
(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[エマージング株式マザーファンド] (計算期間 2023年4月18日～2024年4月15日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

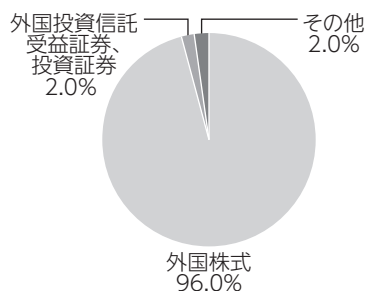
銘柄名	通貨	比率
TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾・ドル	9.3%
TENCENT HOLDINGS LTD	香港・ドル	4.3%
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国・ウォン	3.6%
SAMSUNG ELECTRONICS-PFD	韓国・ウォン	3.4%
INFOSYS LTD	インド・ルピー	2.2%
ALIBABA GROUP HOLDING LTD	香港・ドル	2.1%
CHINA CONSTRUCTION BANK	香港・ドル	1.9%
POWER FINANCE CORP LTD	インド・ルピー	1.9%
SK HYNIX INC	韓国・ウォン	1.8%
ICICI BANK LTD ADR	アメリカ・ドル	1.8%
組入銘柄数		99銘柄

◆1万口当たりの費用明細

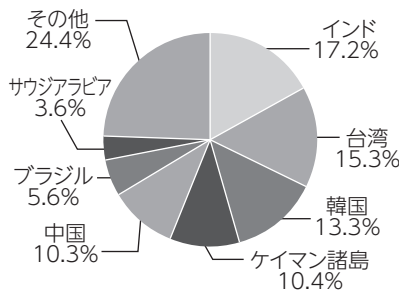
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	67円	0.200%
(株式)	( 65)	(0.193)
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.000)
(投資証券)	( 2)	(0.006)
(b) 有価証券取引税	41	0.122
(株式)	( 40)	(0.120)
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.000)
(投資証券)	( 1)	(0.002)
(c) その他費用	199	0.593
(保管費用)	( 45)	(0.134)
(その他)	(154)	(0.459)
合計	306	0.914

期中の平均基準価額は33,464円です。

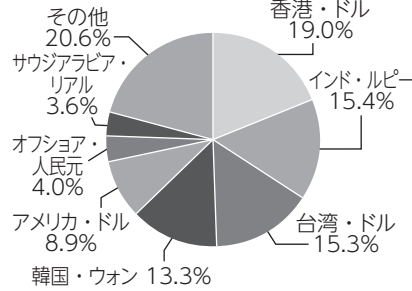
◆資産別配分



◆国別配分



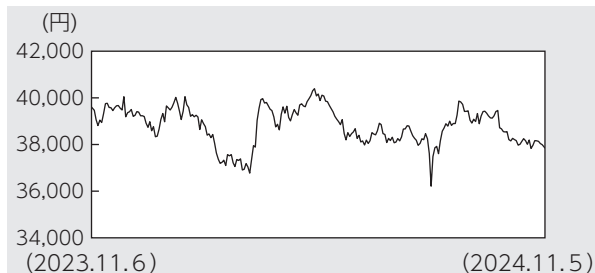
◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。
- (注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。
- (注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。
- (注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

## 【国内リートマザーファンド】（計算期間 2023年11月7日～2024年11月5日）

### ◆基準価額の推移



### ◆組入上位10銘柄

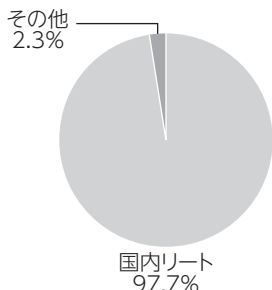
銘柄名	通貨	比率
KDX不動産投資法人	日本・円	9.9%
野村不動産マスターファンド投資法人	日本・円	9.4%
ラサールレジポート投資法人	日本・円	7.6%
GLP投資法人	日本・円	7.4%
日本ビルファンド投資法人	日本・円	6.4%
日本都市ファンド投資法人	日本・円	6.3%
アドバンス・レジデンス投資法人	日本・円	5.9%
大和証券オフィス投資法人	日本・円	5.3%
オリックス不動産投資法人	日本・円	4.2%
インヴェンシブル投資法人	日本・円	3.8%
組入銘柄数		37銘柄

### ◆1万口当たりの費用明細

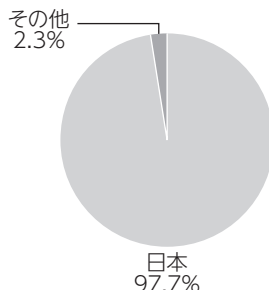
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資証券)	31円 (31)	0.079% (0.079)
合計	31	0.079

期中の平均基準価額は38,790円です。

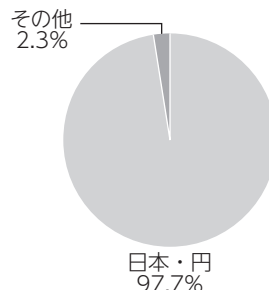
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

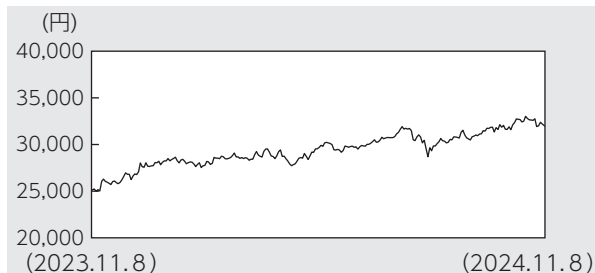
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

[海外リートマザーファンド] (計算期間 2023年11月9日～2024年11月8日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄

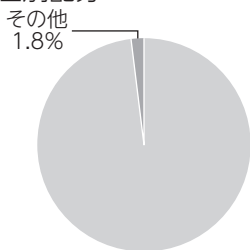
銘柄名	通貨	比率
EQUINIX INC	アメリカ・ドル	9.5%
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	7.7
REALTY INCOME CORP	アメリカ・ドル	7.0
GOODMAN GROUP	オーストラリア・ドル	5.7
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	4.9
CUBESMART	アメリカ・ドル	3.6
SUN COMMUNITIES INC	アメリカ・ドル	3.6
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	3.1
REXFORD INDUSTRIAL REALTY INC	アメリカ・ドル	2.9
REGENCY CENTERS CORP	アメリカ・ドル	2.7
組入銘柄数		65銘柄

◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (投資信託受益証券) (投資証券)	62円 ( 8) ( 53)	0.210% (0.029) (0.181)
(b) 有価証券取引税 (投資信託受益証券) (投資証券)	8 ( 0) ( 8)	0.028 (0.002) (0.027)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	38 ( 36) ( 2)	0.129 (0.123) (0.006)
合計	108	0.367

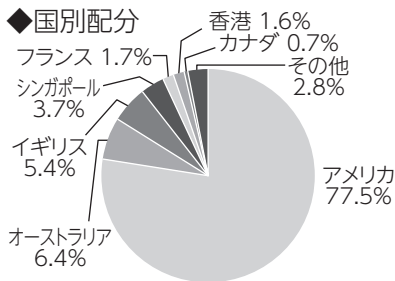
期中の平均基準価額は29,412円です。

◆資産別配分

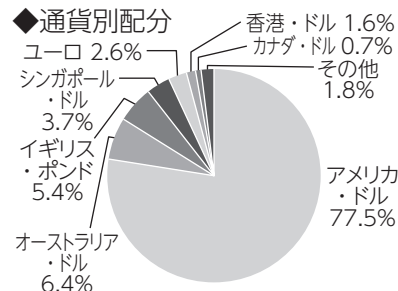


外国投資信託受益証券、投資証券  
98.2%

◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国(地域)で表示しております。

(注6) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

## <当ファンドが組み入れているマザーファンドのベンチマークについて>

### ●NOMURA-BPI総合

NOMURA-BPI総合の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

### ●FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)

「FTSE世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ●JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)

「JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド (円ベース)」は、JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド (米国ドルベース) をもとに、委託会社が独自に円換算して計算したものです。JPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・グローバル・ディバーシファイド (米国ドルベース) に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。

### ●東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社 (以下「JPX」という。) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。JPXは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、JPXにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJPXは責任を負いません。

### ●MSCI-KOKUSA I 指数 (グロス配当再投資込み、円ベース・為替ヘッジなし)

「MSCI-KOKUSA I 指数 (グロス配当再投資込み、円ベース・為替ヘッジなし)」は、MSCI-KOKUSA I 指数 (グロス配当再投資込み、米国ドルベース) をもとに、委託会社が独自に円換算して計算したものです。MSCI-KOKUSA I 指数 (グロス配当再投資込み、米国ドルベース) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

### ●MSCIエマージング・マーケット・インデックス (円ベース)

「MSCIエマージング・マーケット・インデックス (円ベース)」は、MSCIエマージング・マーケット・インデックス (米国ドルベース) をもとに、委託会社が独自に円換算して計算したものです。MSCIエマージング・マーケット・インデックス (米国ドルベース) に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●東証REIT指数（配当込み）

東証REIT指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有しています。J P Xは、同指数の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P Xにより提供、保証または販売されるものではなく、本商品の設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

●S & P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円ベース）

「S & P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円ベース）」は、S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S & Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングズLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、S & P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円ベース）のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

●「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有しています。

●「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

●「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

